

## 【議事要旨】

会 議 名	令和6年度第8回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和7年1月15日（水）午後3時30分から午後4時00分まで
開 催 場 所	庁議室
委 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）荒川企画経営部長 （副委員長）湯川総務部長</p> <p>（委員）相川企画課長、野々山連携協創担当課長、江村財政課長、 若杉総務課長、大浦契約管財課長</p> <p>（説明員）星川国際化・文化芸術担当課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>（1）指定管理者候補者の選定について ・港区立みなと芸術センター 【資料1】</p>
配布資料 (本施設に係るもの)	<p>資料1 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料1—2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料1—3 選考委員会審査結果</p> <p>資料1—4 選考委員会会議録</p> <p>資料1—5 指定管理者候補者の事業提案書</p> <p>参考資料1 指定管理者応募者提案内容の比較表 ※机上配付</p> <p>参考資料2 みなと芸術センター平面図、断面図</p>
会議の結果及び主要な意見（本施設に係るもの）	
（意見者）	
星川課長	（資料について説明）
湯川部長	<p>選考の結果、公募に至る前に非公募での選考を予定していた団体を代表団体としたB事業者になった。</p> <p>公募に際しては、他団体へも同じように情報が行き渡っていたか。競争の公平性は担保できていたのか。</p>
星川課長	<p>非公募の時に提示した計画書類については、公募に切り替える際に内容を変更している。また、公募説明会には25社52名が参加し、そこで区の管理運営計画と応募書類について説明するとともに、その後に提出された180の質問と回答について区ホームページに公表しており、公平性は担保できている。</p>
湯川部長	<p>委員からD事業者に対し、「公共の劇場としてセンターに求められている内容なのか疑問」という意見が述べられているが、D事業者は公共性を求められる施設であると</p>

	<p>いうことを認識していなかったのか。それとも公共性を求められた提案が不足していたのか。</p>
星川課長	<p>公募要項では、みなと芸術センターは共生社会の実現に向けて、区民協働を求めていると明記していたが、興行を主とした提案となっており、公共性を求められた提案が不足していた。</p>
湯川部長	<p>C事業者は事業費が高額で、予算に合わせて規模を縮小するという回答がマイナスの評価になっているが、予算に合わせて柔軟に対応できるということで、必ずしもマイナスの評価につながらないのではないかと。</p>
星川課長	<p>C事業者はエンターテインメント性が強く、国際的な内容で人気が出そうな提案ではあったが、想定する事業費よりも2倍近い額の提案で、予定していた収入が得られなかった際に、提案内容が確実に実施できるという担保がなく、公の施設の指定管理者としては不安が残るという評価になった。</p> <p>一方、B事業者は確実性を重視した事業収入とした上で、指定管理料の範囲の中で、区民参画、共生社会の実現、興行もバランスよく提案され、良い評価となった。</p>
野々山課長	<p>資金収支計画について、令和10年度以降の施設管理経費が同額となっているが、物価の上昇等は加味されていないのか。</p>
星川課長	<p>施設管理経費において同再開発地区の管理組合が担う業務については、公募時に区が想定額を提示しており、物価変動等の影響により金額の差異が生じた場合は、指定期間開始前年度に区と事業者で協議し、対応していく予定である。</p>
相川課長	<p>職員の配置で、B事業者は正規職員より非正規職員の方が多いが、問題ないか。</p>
星川課長	<p>B事業者については、当初は非正規職員が多いが、複数年かけて正規職員にしていくということを確認している。</p>
湯川部長	<p>指定管理候補者は共同事業体であるが、代表団体と構成団体の役割分担は。</p>
星川課長	<p>代表団体が企画運営をメインに行う。構成団体は施設の管理運営、またレセプションistとしてお客様対応のスペシャリストであるので、強みを生かして、その部分を担ってもらう。構成団体は他施設での企画運営の実績もあり、文化芸術分野の多様なネットワークを有していることから、代表団体と連携しながらコンテンツの企画運営も行ってもらう予定である。</p>
江村課長	<p>職員配置表でB事業者は施設長が2人となっているが、どういうことか。</p>
星川課長	<p>1人は施設長で、もう1人は副施設長である。</p>
野々山課長	<p>プログラムディレクターを1名配置するという提案になっているが、どのような役割なのか。新たにB事業者が雇用するのか。</p>
星川課長	<p>プログラムの企画に関わる専門人材で、非常勤として採用する予定である。</p>
若杉課長	<p>B事業者以外は事業収入や補助金なども得る計画になっているが、どのような収入を得る予定だったのか</p>
星川課長	<p>D事業者は約6億円の収入を見込むとあるが、収入を得るために興行的な公演が多</p>

く、区民が施設を利用できる日程が少なくなってしまうということがあった。  
また、収入が見込みより下回った場合の対応について確認したところ、D事業者自ら負担するとの回答であったが、その対応も不安が残り、実現性が乏しいという評価になった。  
C事業者についても予定している収益を得るためには興行を増やし、チケット料金がある程度高くしなければならないという計画であった。  
収入を得て、その分指定管理料を下げるというのは望ましかったが、公共性のある施設なので、興行と区民参画の事業のバランスを考え、現実的な事業収入を見込んで提案してきたB事業者の評価が高くなった。  
ただ、施設の認知度を上げるためには、エンターテイメント性のあるコンテンツを実施するのがよいのではという意見もあったので、開館準備を進めて行く中で事業者と検討していきたい。

大浦課長  
星川課長

現在の参与は今後どのように関わっていくのか。  
参与は区としての立場から、開館準備業務や開館後の管理運営等について助言していただくことを想定している。

荒川委員長  
(全員)

他になれば、本件については了承でよろしいか。  
異議なし。